

記載例

事業計画書

団体名： ○○○○○

事業名 県内産食材を使った海外の家庭料理教室（○○国編）	
事業の種類（該当するものに○） 1 国際交流 2 国際協力 3 国際理解 4 多文化共生	
事業対象者： ○○町民どなたでも 参加見込人数 30 人（うち外国籍者数 10 人） 会員以外の秋田県民の参加（可・不可） 可の場合、周知方法：チラシ配布・HP 掲載	
事業を企画した動機・目的（事業を企画するに至った問題意識） 県内産食材について、日常は郷土の限定的な調理方法のみになってしまう。 他にもいろいろな食べ方があるのではないかという疑問から、諸外国の家庭料理や豊富な食文化を紹介してもらい、料理教室を開催できればと思い企画した。 海外出身の方を講師に、諸外国の料理を食べながら異文化を理解し、交流を深めていくことを目的として実施する。	
事業内容 海外出身の方に県内産食材を使用して、出身国の料理について調理講習してもらう。 その後、食事をしながら料理に関する意見交換をし、懇親を深めるとともに文化の違いを尊重し共有する。	事業日程・行程 2019年○月○日○○公民館で開催する。 前日：食材の準備 当日：10:30 調理講習 12:00 食事会・懇親会 13:30 後片付け 14:00 解散
成果目標 県産品の新しい調理方法の習得と異文化の理解に対する動機づけとなる。 お互いの文化や習慣の違いを認識し、その違いを尊重することによって、多文化共生の促進につながる。 来年は、別の国の方を講師に招き、継続開催していきたい。	

※この用紙1枚で概略が分かるように書いてください。